

湛水直播管理情報 (第2号)

～ 湛水土中直播(カルパー) ～

平成27年4月24日
アルプス農協管内農業技術者協議会

～除草剤はイネの葉齢を確認し、遅れずに散布しましょう。その後は浅水管理で分けつの発生を促進しましょう～

1. 播種後の管理

(1) 播種後の田干し

- ・播種同時又は播種当日に、5～10m間隔で溝を掘り、表面水の排除を促しましょう。
- ・水たまりがある場合、手溝などで落水を促しましょう。
- ・播種後の覆土が十分でなく鳥害等が懸念される場合には、田干しの前に半日程度の湛水を行きましょう。
- ・出芽が揃うまで(播種後5～7日程度)は、表面に小さくヒビが入る程度の田干しを行きましょう。ただし、強風が吹くなど荒天の場合には、乾き過ぎにも注意しましょう。



適度な田干し状況

播種溝および施肥溝に沿って亀裂が入り始める

足を踏み入れ、2～3cmしか沈まなくなった時期が入水時期の目安。漏水により除草効果が劣るので、干し過ぎにも注意！

(2) 除草剤の散布と水管理 (使用薬剤は水稲直播管理情報第1号を参照)

- ・除草剤は、出芽後入水し、減水が落ち着き湛水状態が安定してから散布しましょう。
- ・使用時期の範囲内で遅れないように注意しましょう。
- ・田面が露出しないよう5cm程度の深水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保ちましょう。また、散布後7日間は落水しないでください。
- ・その後は、水深2～3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促進しましょう。
- ・入水は朝又は夕方に短時間で行い、日中は止め水にして田水温の上昇に努めましょう。

【除草剤散布の目安】

- ・出芽促進処理を実施していないほ場では、イネよりノビエの方が葉齢の進みが早いため、散布適期(イネ1.5葉以降～ノビエ2.5葉までの期間)が短く、除草剤の散布時期の判断が難しくなります。下表を参考に、イネが1.5葉になるのを確認の上、すみやかに除草剤を散布しましょう。

除草剤の選択方法	播種後日数(目安)																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
出芽促進処理を実施した場合 または 雑草が少ない場合																						
出芽促進処理を実施しない場合 または 雑草が多い場合																						

※イネの「出芽に時間のかかる場合」や、「ノビエの発生が極めて多い場合」では早めの除草剤対応を行きましょう。

【イネの出芽に時間のかかる場合】

播種後5～10日を目安にキックバイ1キロ粒剤(対象雑草はノビエ・その他雑草)を散布し、その後“一発処理剤”を散布しましょう。

【ノビエの発生が極めて多い場合】

播種後10日からを目安にクリンチャー1キロ粒剤(対象雑草はノビエのみ)を散布し、その後“一発処理剤”または“中期除草剤”を散布しましょう。



2. 初期害虫の防除

・初期害虫の発生がみられたら、早めに対応しましょう。

表 防除の目安および防除薬剤

対象害虫	防除の目安 (5月下旬～6月上旬)	薬剤名	10a当たり 処理量	使用上の注意点
イネミズゾウムシ	成虫数3.0頭/10株	シクロパック粒剤	60g×10個	・湛水状態(3～5cm)で手投げ込み散布し、散布後は少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、落水、かけ流しはしない。
イネドロオイムシ	成虫数0.5頭/10株	トレボン粉剤DL	3kg	・昨年多発した圃場などでは発生状況を必ず確認する。 ・イネドロオイムシによる食害が見られたら、防除の目安を参考に防除を行う。

3. 溝掘りの実施

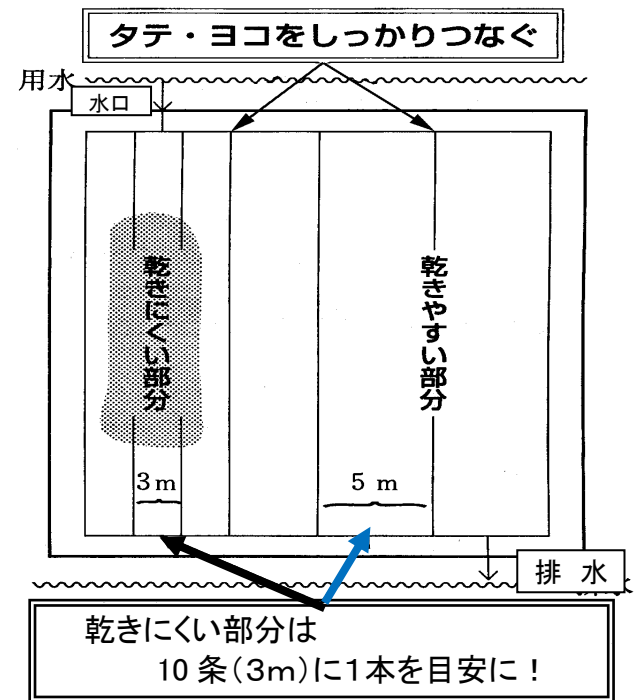
・水の出し入れをスムーズにし、中干しの効果を高めるため、**6月上旬までに溝掘りを実施しましょう。**

・作溝は10～15条に1本の間隔を目安に行いましょう。

また、播種機でできた溝の手直しや溝の連結を確実に実施し、ほ場への入排水の効率を高めましょう。

溝掘りにはこんな効果があります

- ①短時間できれいに田んぼ全体の水を落とせる。
- ②水の走りが良くなる。
- ③中干しの効果を高め、稲の根を健全にする。



4. 雑草が残った場合の除草剤散布

・一発剤処理後も雑草が残っている場合は、イネの葉齢を確認し、雑草の種類や発生状況に応じた除草剤を散布しましょう。

発生草種	除草剤名	使用時期	適用 土壌	10a当たり散布量	使用上の注意点
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	播種後10日以降 ノビエ3葉期まで (ただし、収穫30日前まで)	砂壤土 ～ 埴土	1.0kg	・散布時には5cm程度の深水とし、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
		播種後25日以降 ノビエ4葉期まで (ただし、収穫30日前まで)		1.5kg	
	クリンチャーEW	播種後10日以降 ノビエ5葉期まで (ただし、収穫30日前まで)		100ml (希釈水量25～100ℓ)	・雑草の茎葉に確実に付着するよう、散布する。 ・晴天日を選んで散布する。 ・展着剤を加用する。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ、クサネム 他	サンパンチ 1キロ粒剤	稲3葉期～ ノビエ3葉期まで (ただし、収穫60日前まで)		1.0kg	・散布後5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らさない。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ他	クリンチャーバス ME液剤	播種後10日～ ノビエ5葉期まで (ただし、収穫50日前まで)		1000ml (希釈水量70～100ℓ)	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・晴天日を選んで散布する。 ・展着剤は加用しない。
マツバイ、ホタルイ、 ウリカワ、ミスガヤツリ 他	バサグラン液剤	播種後35～50日 (ただし、収穫50日前まで)	500～700ml (希釈水量70～100ℓ)	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・晴天日を選んで散布する。	

(上記除草剤散布例は、富山県農林水産部発行の平成27年度農作物病害虫・雑草防除指針に基づき作成)

※除草剤は安全使用基準をしっかりと守って使用しましょう!